

Mac への EZR ダウンロード (2024/11/08、macOS Sequoia 15.0.1 で動作確認済)

参考 Hp <https://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/statmedOSX.html>

1. R をダウンロード

<https://cran.r-project.org/>

上記 HP にアクセスし、macOS に対応した R をダウンロードする。

Download and Install R

Precompiled binary distributions of the base system and contributed packages, **Windows and Mac** users most likely want one of these versions of R:

- [Download R for Linux \(Debian, Fedora/Redhat, Ubuntu\)](#)
- [Download R for macOS](#)
- [Download R for Windows](#)

R is part of many Linux distributions, you should check with your Linux package management system in addition to the link above.

macOS リンクを踏むと下記画面に飛びます。基本的にその時点で一番新しい ver の R をインストールしてください。(2024/11/08 時点の最新版は 4.4.2 です)

Latest release:

<p>For Apple silicon (M1,2,...) Macs: R-4.4.2-arm64.pkg SHA1-hash: 7832cb5d6cd686d3cc54c8ab4c93c464540a944 (ca. 94MB, notarized and signed)</p>	<p>R 4.4.2 binary for macOS 11 (Big Sur) and higher, signed and notarized packages.</p> <p>Contains R 4.4.2 framework, R.app GUI 1.81, Tcl/Tk 8.6.12 X11 libraries and Texinfo 6.8. The latter two components are optional and can be omitted when choosing "custom install", they are only needed if you want to use the <code>tcltk</code> R package or build package documentation from sources.</p> <p>macOS Ventura users: there is a known bug in Ventura preventing installations from some locations without a prompt. If the installation fails, move the downloaded file away from the <i>Downloads</i> folder (e.g., to your home or Desktop).</p> <p>Note: the use of X11 (including <code>tcltk</code>) requires XQuartz (version 2.8.5 or later). Always re-install XQuartz when upgrading your macOS to a new major version.</p> <p>This release uses Xcode 14.2/14.3 and GNU Fortran 12.2. If you wish to compile R packages which contain Fortran code, you may need to download the corresponding GNU Fortran compiler from https://mac.R-project.org/tools. Any external libraries and tools are expected to live in <code>/opt/R/arm64</code> (Apple silicon) or <code>/opt/R/x86_64</code> (Intel).</p>
<p>For older Intel Macs: R-4.4.2-x86_64.pkg SHA1-hash: 489ad59c3a0ae569f48f9668749bc861b965b5e (ca. 96MB, notarized and signed)</p>	

Mac 上で Window を表示するためには、**Xquartz** というアプリを使用する必要があります。また、うまく表示させるためには **GNU Fortran** というツールもダウンロードしておく必要があります。追加で **Xcode** という apple のソフトウェア開発ツールも必要との記載がありますが、こちらはダウンロードしなくても動くことがあります。もし動かなかった場合には apple store からダウンロードしてみてください。

2. XQuartz をダウンロード

<https://www.xquartz.org/>

The screenshot shows the XQuartz website homepage. At the top center is the XQuartz logo. Below it is a navigation menu with links for Home, Releases, Support, Contributing, Bug Reporting, and GitHub. The main content area features a 'Quick Download' section with a table of download links, versions, release dates, and platform information. Below that is a 'License Info' section with a paragraph of text. At the bottom, there are small footnotes about the website's design and content distribution services.

Download	Version	Released	Info
XQuartz-2.8.5.pkg	2.8.5	2023-01-26	For macOS 10.9 or later

上記リンクからダウンロードしてください。

3. GNU Fortran をダウンロード

<https://github.com/fxcoudert/gfortran-for-macOS/releases>

上記リンクからダウンロードしてください。Version が複数あるのですが、自分の macOS の version に合わせてダウンロードしてください。最新版の macOS Sequoia 15.0.1 の場合には gfortran 14.2 になります。(下記画像)

The screenshot shows the GitHub release page for 'gfortran 14.2 for Sequoia (macOS 15)'. The title is 'gfortran 14.2 for Sequoia (macOS 15)' with a 'Latest' badge. Below the title is a description: 'Standalone installer of GCC 14.2, including gfortran, for macOS Sequoia (macOS 15):'. There are two bullet points listing download links for Apple Silicon and Intel computers. A 'Note' section contains two bullet points about the compiler's origin and availability through Homebrew. At the bottom, there is an 'Assets' section with 4 items: two .dmg files (148 MB and 159 MB), and two source code archives (zip and tar.gz) from Feb 18, 2021.

4. R を起動

- インストールした R を起動し、R のコマンド入力部分 (">"表示) に以下を入力してください。

```
install.packages("RcmdrPlugin.EZR", dependencies=TRUE)
```

入力出来たら return キーを押してください。

これにより、R コマンド等、EZR を使用するために必要なパッケージがインストールされます。

パッケージをどこからインストールするか選ぶ画面が表示された際には Japan と表示されているうちのどれかを選んでください。

- 「コマンドライン・デベロッパ・ツール」をインストール

Xcode 関連で以下のポップアップが出現する場合があります。この場合、インストールをクリックしてください。出現しない時は無視して進めてください。



- インストールが完了したら、R のコマンド入力部分 (">"表示) に以下を入力してください。

```
library(Rcmdr)
```

入力出来たら return キーを押してください。

成功すると EZR が立ち上がります。

5. よくあるエラーと対応

上記の手順でもうまくいかないケースがあります。よくあるエラーとその対応策を記載しますので、諦めずに環境を変えてうまくいくか試してみてください。

下記項目の●を実施してみてその都度 library(Rcmdr)を実行してみてください。

- XQuartz が立ち上がっているか確認する。
うまく立ち上がらない時は Mac を再起動。ダメなら Xquartz を再インストールしてみてください。
- R のコマンド入力部分で下記を実行

```
install.packages("Rcmdr", dependencies=TRUE)
```

- パッケージのインストールができていないエラーが出た場合
例)

```
Error: package or namespace load failed for 'car' in loadNamespace(j <- i[[1L]],  
c(lib.loc, .libPaths()), versionCheck = vI[[j]]):  
  'openxlsx' という名前のパッケージはありません  
エラー: パッケージ 'car' をロードできませんでした
```

上記の場合、"openxlsx"というパッケージがインストールできていないのでRのコマンド入力部分にでに下記のコマンドを実行してパッケージをインストールしてください。

```
install.packages("openxlsx")
```

他のパッケージの場合も同様に、エラーが出た場合インストールしてください。

- Rの内部設定の確認

以前にRやEZRをインストールしていた場合、Rprofileというファイルにエラーがある可能性があります。

対策として、アプリケーションのユーティリティの中からターミナルを起動して、

以下の##Starts here から##Ends here までをコピーして

ターミナルに貼り付けることによってRprofileファイルを開きます。

```
##Starts here
```

```
open -a TextEdit.app ~/.Rprofile
```

```
##Ends here
```

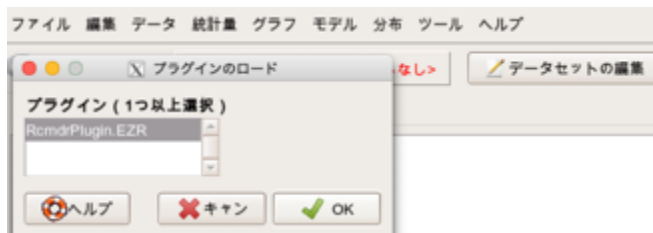
その後、全ての行の先頭に半角の#を加えて(つまりその行を無効にして)上書き保存してからRを再度起動し、library(Rcmdr)を実行してみてください。

- EZRが英語表記になってしまう場合

Rのコマンド入力部分に以下を入力してRを再起動してみてください。

```
system("defaults write org.R-project.R force.LANG ja_JP.UTF-8")
```

- R コマンダーのウィンドウのメニューから「ツール」→「Rcmdr プラグインのロード」をクリック、RcmdrPlugin.EZR を選択、「再起動しますか？」→「はい」



EZR が立ち上がると、以下のように「アクティブデータセット」「統計解析」などが見えます。上の写真（R コマンダー）が見えるなら、EZR は立ち上がっていません。この場合、R を再起動してやり直してみてください。



- 関連アプリケーションのアンインストール
R や XQuartz を一度アンインストールし、再度インストールを試してみてください。
最初はうまく起動しなくても、PC を再起動した後であれば問題なく動作するケースも多いらしいので試してみてください。
- Xcode を起動し、ライセンス認証を行う
Xcode をインストールした際、もしくは既にインストールしていた場合、初回起動時にライセンス認証がある場合があります。一度起動して、ライセンスに agree してみてください。

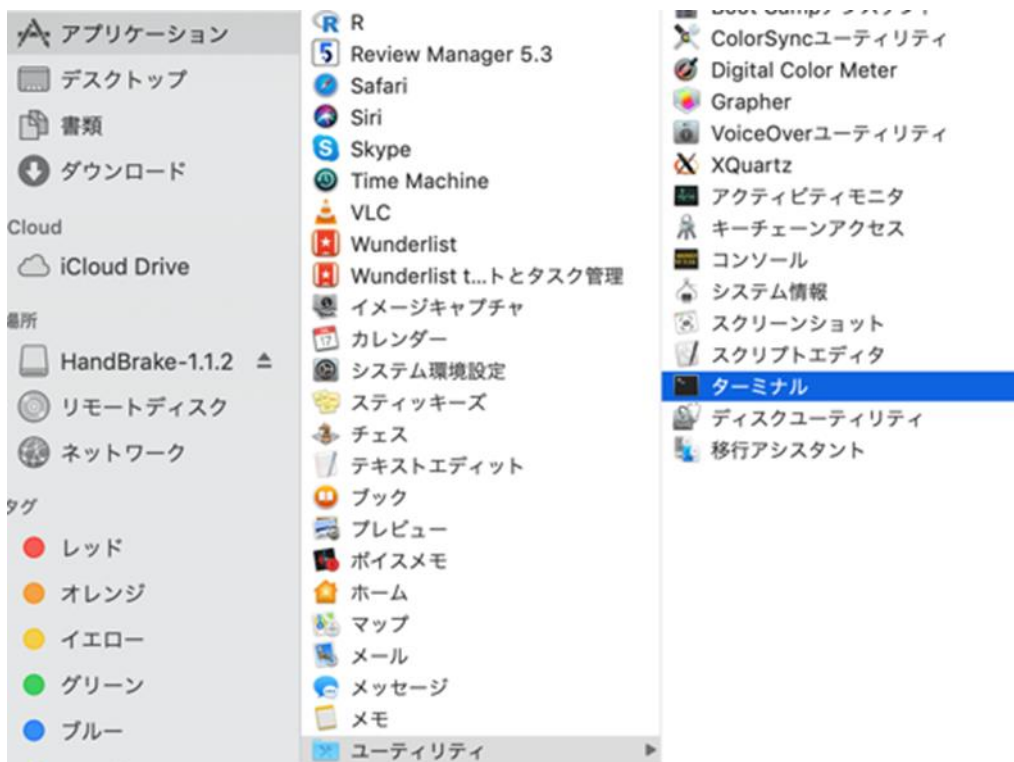
6. 快適に使用するための tips

- アプリの場所

アプリ R をデスクトップに表示しておくくと便利です。

- EZR の自動起動

アプリケーションのターミナルに以下を貼り付けると、アプリ R を起動すると自動で EZR が立ち上がるようになります。



```
## Starts here
```

```
echo "options(Rcmdr=list(plugins='RcmdrPlugin.EZR'))" >> ~/.Rprofile
```

```
echo "library(Rcmdr)" >> ~/.Rprofile
```

```
echo "local({" >> ~/.Rprofile
```

```
echo "old <- getOption('defaultPackages')" >> ~/.Rprofile
```

```
echo "options(defaultPackages = c(old, 'Rcmdr'))" >> ~/.Rprofile
```

```
echo "}") >> ~/.Rprofile
```

```
## Ends here
```

- R コマンダーの動作が遅く感じる場合

「ツール」→「R.appのためのMac OS Xのapp.napの管理」でapp nappの設定をオフに変更してください。



- 複数項目の選択

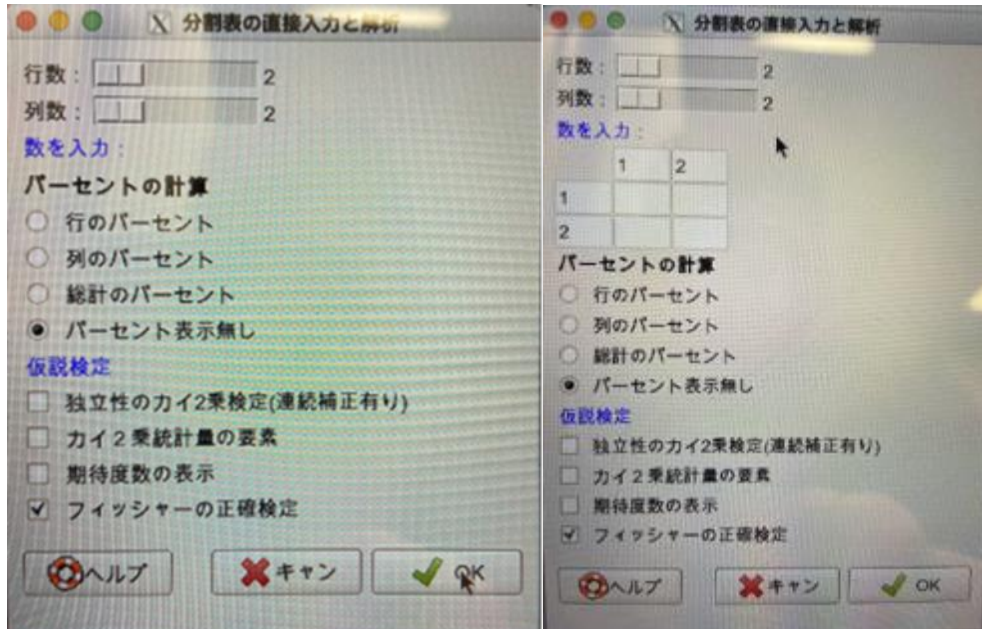
Macで複数の項目選択は"command"ですが、Winでは"control"です。EZRでの複数選択は"control"ですのでご注意ください。

- 「分割表の直接入力ができない」時の対処法

列数/行数のカーソルを動かしてから 2x2 に戻すと分割表が現れます。

<立ち上げ時>

<カーソルを動かした後>



★★★ 本資料は自己責任でご使用ください ★★★